

## 日米協力30周年と日米協力調整委員会報告

須藤 滋

1977年に福田首相とカーター大統領が核融合の研究開発について日米協力を合意し、核融合分野の日米協力を推進するため日米科学技術協力事業(核融合分野)が開始されました。その最上級の委員会として日米協力調整委員会(CCFE)が設置され、1979年8月に開催されて以来、毎年開催されています。今回はIAEA核融合エネルギー会議期間中の10月13日に韓国大田市で開催され、30周年に当たるといことで、日米双方が今までの協力活動の意義を確認しあいました。また、日米での研究動向の紹介とITERやBAなどについて意見交換を行いました。さらに、本年度の活動計画を承認し、30周年を記念して活動報告書を作成することとし、その原案が示され、12月中旬の完成に向けて編集作業を進めることになりました。

本調整委員会の共同議長である三間興典大阪大学名誉教授と米国エネルギー省(DOE)のEdmund SYNAKOWSKI博士が30年にわたる協力関係の意義と今後の発展を期待する主旨で祝辞を述べました。両議長に加え、文部科学省から片岡洋研究開発戦略官、天笠いづみ研究開発戦略官付係員、松本太郎研究開発戦略官付行政調査員、日本原子力研究開発機構から高津英幸核融合研究開発部門副部門長等3名、核

融合科学研究所から小森彰夫所長等7名、米国からの参加者も併せて計約30名が参加し、なごやかに祝いました。

今後40周年、50周年を核融合炉実現の間近で迎えることを期待したいと思います。

(フェロー/日米研究計画委員会委員(幹事))



前列左4人目から右へ、小森所長、片岡戦略官、SYNAKOWSKI共同議長、三間共同議長

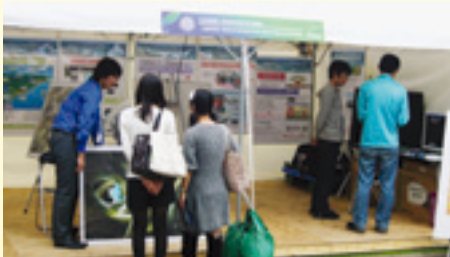
## 総研大アジア冬の学校開催案内

2011年2月15日(火)から18日(金)までの日程で総合研究大学院大学(総研大)アジア冬の学校を核融合科学研究所(NIFS)にて開催いたします。この総研大冬の学校は、総研大物理学研究科の5専攻で行っている研究・教育活動を、日本国内を含むアジア諸国の大学生、大学院生および若手研究者の育成に広く供するために、2004年度より毎年開催しています。本年度の研究科共通テーマは「構造形成の科学—光・エネルギー・物質・宇宙—」です。核融合科学専攻では、例年と同様にシミュレーション科学教育講座との共催で、「プラズマ中の構造形成」をサブテーマとして掲げ、プラズマ物理の基礎から核融合を目指したプラズマ実験、核融合プラズマやプラズマの複雑現象のシミュレーションまでの幅広い講義を行います。また、参加者の現在行っているあるいはこれから行いたいと考えている研究内容に関するポスター発表や、参加者と職員の交流の場としての懇親会、大型ヘリカル装置(LHD)の見学会や仮想現実装置(ComplexCope)の実習等の企画も予定しています。

核融合研究・プラズマ研究に関心のある学生・若手研究者の参加をお待ちしております。詳細についてはWEBページをご覧ください。  
<http://www.nsrp.nifs.ac.jp/aws/index-j.shtml>

## COP10「生物多様性交流フェア」に出展

平成22年10月に名古屋で開催されたCOP10(生物多様性条約第10回締結国会議)に併催された「生物多様性交流フェア」に、研究所から「生物多様性をまもるため、これからのエネルギー源はどうあるべきでしょうか?」と題してブースを出展しました。展示ブースでは、温室効果ガスを排出しない核融合発電を、太陽光発電などの自然エネルギーと併用して利用する未来社会を提案しました。5日間のブース出展期間中に約300名が訪れ、研究者や大学院生の説明に熱心に聞き入っていました。



## 平成22年度防災訓練を実施

核融合科学研究所では、平成22年10月5日(火)に土岐南消防署の協力を得て、震度6強の地震を想定した防災訓練を行いました。

土岐市消防本部の高所作業車を使った救助隊による救助演習も行われ、訓練に参加した所員約280名は、緊急時の役割分担や避難経路などを確認しました。

## プラズマ生成回数が10万回に到達

2010年11月10日午後3時、大型ヘリカル装置(LHD)のプラズマ生成回数が10万回に到達しました。今年度の実験は10月より開始され、毎週火曜日から金曜日の9時頃から18時45分まで、3分に1回の間隔でプラズマを生成しています。LHDが建設されて最初に実験を行った1998年3月から12年が経過し、今回その生成回数がついに10万回に到達しました。

### 【所長からの挨拶】

この12年間でLHD実験は大きな成果を上げてまいりました。ここまで実験を進めることができたことは、多くの関係者の方々のおかげです。本当にありがとうございました。この10万回達成をひとつの区切りとして、これからも新しい研究成果を次々と出して行きたいと思っています。



プラズマ生成10万回到達の記念写真



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS No.196 (2010年10, 11月号)

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6

TEL: 0572-58-2222 (代表)

URL: <http://www.nifs.ac.jp/>

E-mail: [nifs-news@nifs.ac.jp](mailto:nifs-news@nifs.ac.jp)

\* 過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

### 《複写される方へ》

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F

TEL: 03-3475-5618 FAX: 03-3475-5619 E-mail: [info@jaacc.jp](mailto:info@jaacc.jp) 著作権の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。